

モニタリングシート

施設名		運動公園																
		6月			9月			12月			期末評価	所管課コメント	指定管理者自己評価(コメント)					
視点	評価項目	所管課評価	所管課コメント	指定管理者自己評価(コメント)	所管課評価	所管課コメント	指定管理者自己評価(コメント)	所管課評価	所管課コメント	指定管理者自己評価(コメント)								
施設の管理・運営を安定して行うことができるか	定量的	維持管理が適切に行われているか(維持管理事業 実績/計画) 【事業報告書】※9・12月のみ											B					
	定性的	団体の経営方針が明確であり、適正な経理がされていること	B			B			B			B						
		管理業務実施に係る固有の銀行口座を開設しているか【銀行口座】※6月のみ	B			B			B			B						
		資金の適正管理と経理内容の明確化が図られているか【独立した会計帳簿】	B			B			B			B						
		利用料金、使用料の徴収は適正に行われているか【独立した会計帳簿・使用料等収納(徴収)事務委託契約書・銀行口座】	B			B			B			B						
		収支計画が適正であること	B			B			B			B						
		管理運営が適正にできる職員体制や研修体制がとれていること	B			B			B			B						
施設の管理運営を安定して行う能力があること	B			B			B			B								
施設の管理が適切に行われていること	C	・園路入口の障害物あり ・階段(右)下から8段目破損 ・ベンチ板が欠け、欠損あり ・トイレの用具入れのドア鍵がからず。	園路上の障害物については、枝垂れ木の剪定適期の冬に行う。施設補修については、即日対応済み。	B			B		A	園内は丁寧な清掃が行われており、清潔に保たれている。運動施設では安全管理にも心がけられ、1日2回以上巡回が行われている。	園路や広場だけでなく、植栽地や池のこみ払いも行い、細やかな清掃を心がけた。運動施設では危険因子の早期発見、是正の為、1日複数回の巡回点検を行った。	B						
施設の運営に公共性、公平性、公正性が図られているか	定量的	開園率(実績/計画) 【事業報告書】※9・12月のみ											A	作業効率を考え、開園日数を増やす工夫が実施されている。	運動施設の整備と補修等を同日に行うよう調整し、開園日数を3日増やした。	B		
	定性的	利用者が公平に施設を利用できるよう、配慮されていること	B			B			B			B						
		減免申請された場合、適正に処理されているか【減免申請書】	B			B			B			B						
		文書の管理・保存が適切に行われているか【ファイル基準等・実地調査】	B			B			B			B						
		施設の公共性、公平性について継続性が保たれていること	B			B			B		A	複数工種の補修や点検を同時に行うことで、使用不可期間を減らす等、効率的な施設保全が行われている。	計画していたテニスコート修繕の期間中に、支柱の補修やネットワイヤーの点検も同時に行い、使用不可期間を短縮した。	B				
備品の管理が適切に行われているか【備品台帳・実地調査】	B			B			B				B							
施設のサービス向上、利用者の増加が図られているか	定量的	利用者満足度調査における統一項目(3項目)の評価(各0~3の評価点)が水準を満たしているか項目ごとの平均評価を合算し、0以上3以下まではC、3を超えて7未満はB、7以上はA【満足度調査報告書】※実施後のみ											B					
	定性的	利用者からの苦情処理の体制がとれていること	A	利用者等からの相談及び苦情に適切に対応しているか【実地調査・事業報告書】※9・12月のみ	A	苦情件数を減らすための工夫が見られるほか、市民対応の改善も図られており、結果に繋がっている。	現場管理以外にも、接遇教育を行うことで、市民対応にも力を入れた結果、前年度に比べ苦情件数を28%減らすことができた。	A	市管理のシステム不具合による苦情に対し、施設管理者として迅速かつ適切な対応を行い、改善策の提案を行った。	A	運動施設予約システムの不具合による利用者からの苦情について、迅速に現地へ赴き利用者への説明、対応を行うことでトラブルを最小限に抑えることができた。また再発防止について市に提案を行い、より正確なシステムへ改修するきっかけとなった。	A	苦情件数を減らすための工夫をしたことなど施設管理者として迅速かつ適切な対応をした。	A	革刈り等昨年度苦情があった箇所については、時期や作業方法を検討し、再度苦情にならないようにするなど、苦情の予防に努めることで、苦情件数を減少させた。			
		各種団体等と協働及び支援をしていること	A	町会・自治会、アドプト登録団体、教育機関等と連携した事業を行い、支援しているか【事業計画書・事業報告書】※9・12月のみ	A	アドプト団体と水域環境の改善を行う等、各種団体と積極的に連携し、効果が表れている。	湧水地や沢などの水辺環境をアドプト団体と協力して改善した結果、きれいな水を池に引きこめるようになり、水生生物が増えた。	A	公園利用者からも好評をいただいている花壇整備事業を、新たに松木公園でアドプト団体と連携し、学生や地域ボランティアと協力して花壇整備を行った。	A	花壇整備事業では、南大沢学園から購入した花苗を使用し、従来の内裏谷戸公園や大塚公園のアドプト団体だけでなく、松木公園のアドプト団体と連携し、学生や地域ボランティアと協力して花壇整備を行った。	A	アドプト団体や教育機関等と連携し、池の復活や花壇等の整備を行い期待以上の成果を上げた。	A	花壇整備で使用した花苗の育成状況や、出荷時期等を各団体やボランティアにお知らせをし、出荷に合わせて活動日程を調整するなど、花苗を育成する団体とそれを活用する団体が連携をして、花壇整備事業を行った。			
		広報活動を行い効果的に情報を発信していること	A	ホームページや広報紙等を通じて、利用情報や注意等を発信し、利用者増加やマナー向上が図られているか【事業計画書・事業報告書】※9・12月のみ	A	見所紹介ページはわかりやすく、興味をそそぐつくりとなっており、利用者増加や利便性の向上が図られている。	ホームページには各公園の見所紹介のページを増設した。またイベント情報を広報やフリーペーパー等に掲載し、情報発信を行った。	B		B			B					
施設の効率的な管理・運営、経費削減が図られているか	定量的	公共料金の削減(実績/計画) 【事業報告書】											C	水道メーターの数値の確認をこまめにし、漏水や無駄な使用をさせないよう注意すること。	公園敷地内の水道管には漏測メーターを設置し、プールへの水道管には水メーターを設置することで、巡回時等に水道使用量を確認し、漏水や異常な使用が早期発見できるよう改善を行った。			
事業の達成目標が明確で、具体的な事業計画に基づいて行われているか	定量的	自主事業実施率(実績/計画) 【事業報告書】※9・12月のみ											B					
	定性的	資源の有効活用など環境に配慮した管理運営がされていること	A	「八王子市役所エコアクションプラン」及び「八王子市役所環境マネジメントシステム」に基づく、環境に配慮した管理・運営が行われているか【ヒアリング等・事業報告書】	A			A			A	指定管理者独自のガイドラインを作成し、具体的な目標を設定したうえ本社および関係職員も一体となり環境に配慮した活動をして目標を達成した。	A	八王子市役所環境マネジメントシステムに基づいた、指定管理者独自のガイドラインを作成し、目標を設定し職員に環境配慮に対する意識の向上を図り実践した。				
個人情報保護管理及び危機管理が図られているか	定量的	巡回の実施率(実績/計画) 【事業報告書】※9・12月のみ											B					
	定性的	個人情報の取り扱いが適切であること	B	個人情報の適切な管理のため必要な措置が講じられているか【実地調査】	B			B			B							
		緊急(防火・防犯等)対応等危機管理体制が取られていること	B	指定管理者が加入しなければならない保険に加入しているか【保険証券】※6月のみ	B			B			B							
				B	事故や災害発生時の緊急時の対応が適正に行われたか。また、適正に行えるよう体制が整っているか。【マニュアル・事業計画書・事業報告書】※9・12月のみ	B			B									

期末総合評価	B
所管課コメント	<ul style="list-style-type: none"> 年間を通して公園・緑地の維持管理が適切に行われた。 有料施設の使用率が、テニスコートは77.9%(前年79.8%)であった。 市に寄せられた要望・苦情の件数は37件(昨年50件)であった。 利用者満足度調査を9~11月に実施し、満足度は97%だった。 自主事業については73件の主催事業、10件の共催事業、4件の支援事業を行った。 遊具点検(施設点検)を6月に実施し、D判定の遊具1基は使用禁止にしたが、その後修繕し使用可能とした。